

# グループワーク 報告用シート

グループ名	A	メンバー	伊藤、田中、野口、弘中、俣野、水口、ファシリテーター
-------	---	------	----------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別
  - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	指導内容 早食い 間食 むし歯 歯周病について 糖尿病との関係 データを示しつつ(エビデンス) マニュアルが欲しい 埼玉県歯の医歯連携チェックリスト ダイエット支援 禁煙支援	アウトカム	
実現性(障害)	医科と歯科の専門領域 境界 動機付け→関心のない人へ 報酬はどうなるの？	予想される変化	

疑問点			
要望	相手		
	内容		
その他の特記事項			

# グループワーク 報告用シート

グループ名	B	メンバー	遠藤、菅沼、大野屋、川崎、久保、出口、鈴木、ファシリ高野
-------	---	------	------------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合/個別/実施されていない
  - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	①Drの理解を得ることが必須である →簡単なツール・冊子を利用 ・PCの操作について→研修が必要 ・衛生士の教育→研修が必要 ②歯周治療の一環として取り入れる 歯周治療改善→HbA1cの改善 =医科との連携	アウトカム	①普段行っている保健指導と変わらないという理解 ②単発ではないので受け入れやすい
実現性(障害)	①コスト	予想される変化	

疑問点			
要望	相手		
	内容		
その他の特記事項			

# グループワーク 報告用シート

グループ名	C	メンバー	阿佐見、岡崎、木田、児玉、徳永、久田、榎野、ファシリ荒井
-------	---	------	------------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合/個別/実施されていない
  - その他(グループ独自の設定)

個別
----

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・periodontal medicineの話をし、パンフ等を渡す</li> <li>・食事のとり方、食材、禁煙等の内容で、歯科衛生士による徹底した保健指導を行う。</li> <li>・問診票から関連する疾病のパンフ等を渡して啓発する</li> <li>・他職種との連携が重要</li> </ul>	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科と全身についての話をすることにより、医科歯科連携につながり全身疾患の重症化予防になる。</li> <li>・歯科保健に対する意識の向上</li> </ul>
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士のマンパワー、スキル不足</li> <li>・歯科医院で実施するには患者さんが来院してくれないと指導できない</li> <li>・一般会員の理解不足(歯科以外の事がよく分からない)</li> </ul>	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医科歯科連携が盛んになる</li> </ul>

疑問点	・食育の会議に歯科関係が呼ばれない	
要望	相手	日本歯科医師会
	内容	色々な指導内容を学生教育に取り入れてほしい。(医師会には学生向けの情報伝達誌があるらし
その他の特記事項		

# グループワーク 報告用シート

グループ名	D	メンバー	五十嵐(司会)、廣瀬(発表)、吉田、小泉、小西(書記)、ファシリ小島
-------	---	------	------------------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
2. 歯科医院で特定保健指導を行うためにI/O
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合/個別/実施されていない
  - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	指導者側のスキルアップを図る。 歯科単独ではなく全身疾患との関連について情報提供が大切。 多職種連携→他職種の方に全身と歯科との関連を理解してもらう。 歯周疾患検診のマニュアルの見直しに全身疾患との関連を記載 唾液検査の継続的な導入(できれば数値化できる検査)	アウトカム	受診回数を2回から1回に減らせる？(記載されていますが意味不明) 多職種に歯科疾患を理解してもらえる
実現性(障害)	受診回数を2回から1回に減らすことになる？(記載されていますが意味不明) 指導者側の理解	予想される変化	歯科診療所への定期受診につながる。

疑問点	どのような指導研修を行ってよいかわからない		
要望	相手	厚労省、日本歯科医師会	
	内容	唾液検査を医療保険に導入し歯科受診後の継続的な指導に繋がるようにして欲しい。 数値化できる簡便な検査の研究開発(パナソニックの細菌数計測器等)	
その他の特記事項	上記に対する予算の折衝		

# グループワーク 報告用シート

グループ名	E	メンバー	司会・杉本、書記・西山、発表・渡辺、メンバー・有松、ファシリ・木戸
-------	---	------	-----------------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー:行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診:集合/個別/実施されていない
  - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	DM専門医と連携して地域の診療所に対応する。(開業医の立場で近年DMの患者の増加を実感している)医科の先生とのコラボをすすめる 歯科関係者の内科疾患の理解のための研修と歯周病検査の簡素化が必要	アウトカム	歯科の介入は数値だけでなく、歯肉の変化など一目でよく分かる。
実現性(障害)	指導の費用が(保険点数)ない。 歯科衛生士の技量が問われる。 患者に歯科の通院することにおける効果を目に見えるわかりやすいツールがない。	予想される変化	歯科の介入によってDMの改善が目に見えて進む。 医科歯科のコラボが進む。

疑問点			
要望	相手	日本歯科医師会・8020財団	
	内容	患者指導をするため、患者指導用のツール、動画、検査(数値)を作成してほしい	
その他の特記事項			

# グループワーク 報告用シート

グループ名	F	メンバー	司会筒井、福士、松崎、田上発表、上原、三澤書記、ファシリ山田
-------	---	------	--------------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

## 状況設定

・人口15万人程度の市

-マンパワー:行政に歯科衛生士が1名配置。

-歯周疾患検診:集合/個別/実施されていない 個別

-その他(グループ独自の設定)

対策		効果	
内容	①各歯科医院で共通した指導に結びつけるためのツールが必要→まず <b>研修会</b> を開催し理解をする②糖尿病などの方への指導が必要とされる→(内科の方)医科や多職種連携をして双方で指導を広める(HbA1cなど指標を利用)	アウトカム	・本人が手帳などを示されることで意識が変わる ・歯科からのアプローチ(月1回の検診) 本人のケアで変化が望まれる
実現性(障害)	・個人病院の場合、糖尿病手帳などを持ち合わせないことがあり、内科データが不明のことがある→歯科医院から逆に <b>手帳を示したり</b> 患者に意識づけることが必要だが紹介状などのやりとりが進まないことがある。→受け皿となる歯科医院の協力体制の整備	予想される変化	・歯科からの発信→行政へも関心をもっていた。 ・ <b>医科歯科連携強化</b> ・歯周病の重症化予防へとつながる

疑問点			
要望	相手	日本医師会、日本歯科医師会、厚労省	
	内容	実際に連携の必要性は言われていてもシステム化が努力義務のようにとられ実現してない。このシステムを実現できるよう絶対のものとしてほしい。	
その他の特記事項	→糖尿病など特定健診で対象となった方は、歯科医科を受けるようになったら前に進むかと考える		

# グループワーク 報告用シート

グループ名	G	メンバー	旭、菅原、河田、植岡、平田、中西、ファシリ佐々木
-------	---	------	--------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適しそうなケースは？)

## 状況設定

・人口15万人程度の市

-マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。

-歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別

-その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内環境の整備(個室化、1対1の面接がしやすいように、プライバシー確保)</li> <li>・かかりつけ医としての情報で活用する(患者の生活習慣 性格 など断面の情報ではなく一定期間の関係での情報を持っている)</li> <li>・会員のレベルの均てん化</li> <li>・評価を意識した保健指導ができるようになる必要がある。</li> </ul>	アウトカム	
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の力量はバラバラ(歯科医師の教育)</li> <li>・費用</li> <li>・かかりつけ歯科医がない住民もいる</li> </ul>	予想される変化	住民が歯科医院が治療するだけのところでないという意識をもつようになる。

疑問点			
要望	相手	厚労省	
	内容	保健指導に点数をつけてください。	
その他の特記事項	動機づけ支援、積極的支援対象となり、かかりつけ医がいる人を対象とする。こうすることで問診票という断面の情報だけでなく、これまでの関わりで得ている、縦断の情報をアドバンテージとした保健指導ができるのではないかと		

# グループワーク 報告用シート

グループ名	H	メンバー	今井、岡安、下村、野村、増田、森島、渡邊、ファシリ森木
-------	---	------	-----------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合/個別/実施されていない
  - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族ぐるみ(かかりつけ歯科医としての)の特定保健指導</li> <li>・歯科医師による積極的な指導(歯科衛生士に任せきりにしない)</li> <li>・啓発ポスター(歯科医院における特定保健指導実施について)</li> </ul>	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医院における特定保健指導の実施</li> <li>・歯科と行政等(栄養士等)との連携</li> <li>・糖尿病連携手帳等の活用</li> <li>・歯科診療所の患者からその家族への好影響</li> </ul>
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科専門職の特定保健指導に関する知識・技術の向上</li> <li>・指導をするための受講</li> <li>・共通保健指導マニュアル等(ツール)の作成</li> <li>・診療報酬への影響</li> <li>・医科との連携(健診データの共有など)</li> <li>・指導内容の均てん化(レベリング)</li> </ul>	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DHの意識・知識↑</li> <li>・歯科に限らない食意識等の改善</li> </ul>

疑問点			
要望	相手	日本歯科医師会	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導マニュアルの作成</li> <li>・保険点数化</li> </ul>	
その他の特記事項			

# グループワーク 報告用シート

グループ名	I	メンバー	上田、木次、小山、眞岡、中山、松本、ファンリ田村
-------	---	------	--------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない
  - その他(グループ独自の設定)

集合
----

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金設定を決める(自費or保険点数)</li> <li>・指導マニュアルの作成(統一指導の基準を決める)</li> <li>・資料をシンプルにする(わかりやすくする)(質問項目が多すぎる)</li> <li>・潜在的な患者をいかに掘り起こすかが重要</li> <li>・対象者を糖尿病、肥満に限定する</li> </ul>	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導ツールの徹底</li> <li>・資料を単純・明確化</li> <li>・対象者を限定していく(糖尿病・肥満)</li> <li>・人材育成ツール</li> </ul>
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯会対象にプログラムの研修会を行う(指導方法の徹底、標準化)</li> <li>・かかりつけ歯科にかかっている人といない人で指導内容が異なるのでは？</li> <li>・指導する側のスキルアップが必要</li> <li>・診療の合い間に指導ができるのか(難しく考えないようにする)</li> <li>・費用をどうするか</li> </ul>	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族ぐるみで指導できる</li> </ul>

疑問点	費用をどうするか	
要望	相手	厚労省
	内容	自費か保険診療か
その他の特記事項		

# グループワーク 報告用シート

グループ名	J	メンバー	上川、黒氏、鈴木、竹中、三善、ファシリ矢野
-------	---	------	-----------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

・人口15万人程度の市

-マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。

-歯周疾患検診: 集合/個別/実施されていない

個別

-その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導のレベルの一定化</li> <li>・協力医療機関の増加</li> <li>・検査日の限定 期間の限定</li> <li>・協力医療機関が講習を受ける体制づくり</li> <li>・健診窓口の医師が歯科をすすめる</li> </ul>	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医科との役割分担</li> <li>・指導実績数の把握</li> </ul>
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医院の負担は大きくなる</li> <li>・低い受診率(そもそも受診者が少ない)</li> <li>→(これまで保健指導を行っていた人の負担は小さくなる)</li> </ul>	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診率の増加</li> <li>・かかりつけ歯科医としての役割を果たせる地域に貢献する</li> </ul>

疑問点		
要望	相手	
	内容	
その他の特記事項		

# グループワーク 報告用シート

グループ名	K	メンバー	内山、金子、土屋、畠山、福井、福田、村山、ファシリ高澤
-------	---	------	-----------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

・人口15万人程度の市

-マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。

-歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない

個別

-その他(グループ独自の設定)

歯科医院が100医院

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診のどの項目に引っかかった人を歯科医院の特定保健指導の対象とするか？→糖尿病、喫煙について</li> <li>・100医院全てにできるようにするためには？</li> </ul>	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重の減少</li> <li>・HbA1c値の低下</li> <li>・タバコの本数の減少</li> </ul>
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医院での体重測定</li> <li>・医科と連携してHbA1c値を共有する</li> <li>・糖尿病の協力医院リスト作り</li> <li>・禁煙指導できる協力医院ネットワーク作り</li> <li>・リーフレット、パンフレットを作って診療の待ち時間に記入、意識させるのは可能では？</li> <li>・特定保健指導から歯科定期受診に向かわせる仕組みが必要</li> </ul>	予想される変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周メンテナンスを定期的に行うことでHbA1c値の低下と維持が期待される</li> <li>・具体的な数値の変化により受診者の行動変容も期待される</li> </ul>

疑問点	
要望	相手
	内容
その他の特記事項	

# グループワーク 報告用シート

グループ名	L	メンバー	岸本、福森、堀田、野口、竹村、ファシリ長
-------	---	------	----------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

・人口15万人程度の市

-マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。

-歯周疾患検診: 集合 / 個別 / 実施されていない 個別

-その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	各歯科医院のスタッフに仕組みを知ってもらうでも金額面で割が合わないの、保険点数に反映、又は歯周疾患検診を生活歯援プログラムに 歯科に特化した人をちゃんとピックアップする(質問の設定) 保健師の弱い点(口腔)を担う、ちゃんと！ ↓ ベーシックな研修を行う	アウトカム	・導入のハードルが低くなる ・歯科があるお得感を与える
実現性(障害)	・歯科医院も、もっと全身全体のことについて勉強しなあかん！ ・医科歯科連携は現場ではなかなか進んでいない(歯科が認められていない)	予想される変化	受診率があがる

疑問点		
要望	相手	医師会？ 行政ほかにも看護師、ヘルパーと連携とれるような仕組みづくり
	内容	→連携をもっと基礎的な所から作っていく、口腔を知ってもらう 皆同じ意識でやる！
その他の特記事項	学生の教育レベルでは、多職種連携の授業がありIPW(Interprofessional Work)(専門職連携)今後の専門職には期待できる？	

# グループワーク 報告用シート

グループ名	M	メンバー	大山、金樹、川越、縄田、葉山、星川、本野、ファシリ石川
-------	---	------	-----------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない
  - その他(グループ独自の設定)

職域(協会健保)

対策		効果	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他科との連携 医科⇔歯科</li> <li>・リスクの高い被保険者にアンケート用紙やリーフレット(規模の小さい事業所など)・糖尿病と歯周病の関連性を強調しながら啓発</li> </ul>	アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相乗効果がねらえる(医科歯科)</li> <li>・医療費と本人の寿命</li> </ul>
実現性(障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内にアンケートやリーフレットを入れ受診を勧める</li> <li>◎医院、薬局</li> </ul>	予想される変化	体の健診とあわせて歯科健診の存在を知ってもらう

疑問点	
要望	相手
	内容
その他の特記事項	

# グループワーク 報告用シート

グループ名	N	メンバー	大田、佐野、高石、武田、根本、久恒、ファンリ北尾
-------	---	------	--------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合/個別/実施されていない
  - その他(グループ独自の設定)

--	--

対策		効果	
内容	特定健診の結果(糖尿病とう蝕、歯周病の関連等)を医科から説明する。とくにかかりつけの医師から説明してもらおうと説得力がある。歯科のみでできること(ガム、咬合センサー等)のアピールを行う	アウトカム	市民が口腔と全身の健康と関連していることを理解することができる
実現性(障害)	5~6問の質問でいろいろなことを指導できるのか?→様々な検査結果から説明する(専門性を有しているから)	予想される変化	生活習慣病の特定保健指導を歯科でも受けられることが理解できる

疑問点		
要望	相手	行政
	内容	歯科でも特定保健指導ができる準備ができていることのアピール ポスター、パンフレット、ツール(ガム、センサー等)の準備費用
その他の特記事項	歯科でも積極的に関わられるよう、歯科側(歯科医師会)での訓練、講習会等行う(研修会)	

# グループワーク 報告用シート

グループ名	○	メンバー	岩谷、鴨志田、清野、高塚、竹内、林、松山、ファシリ吉野
-------	---	------	-----------------------------

## テーマ

1. 歯科関連の特定保健指導(早食い・間食)をすすめるには？
- ②. 歯科医院で特定保健指導を行うためには？
3. 歯科保健指導を効果的に進めるためにはどうしたらよいか？
4. 口腔診査があると何がよいか？(職域などで適合しそうなケースは？)

## 状況設定

- ・人口15万人程度の市
  - マンパワー: 行政に歯科衛生士が1名配置。
  - 歯周疾患検診: 集合／個別／実施されていない 個別
  - その他(グループ独自の設定)

--

対策		効果	
内容	社会保険を使わない メタボにつながる指導 栄養指導(←歯科に特化した部分の指導)、咀嚼指導 歯科医院でできることは何か？(指導、ディスカッション) 咀嚼の評価をグミ等で行う 炭水化物(砂糖)の摂り方の指導 義歯の導入など 全員の医院ができるか？→研修会 献立表の調査(1週間) 砂糖量の調査 噛み癖の調査 アンケートを作る	アウトカム	メタボ予防、改善の効果 モチベーションUP
実現性(障害)	時間がとれるかどうか？	予想される変化	身近なところで関心を持ってもらえる

疑問点			
要望	相手	日歯	
	内容	アンケートの作成 既に有るものもあるけど。具体的な食品を挙げて確認すること	
その他の特記事項			